

研究室 からの メッセージ 163

Data(2018年11月現在)

所在地 〒753-8502 山口県山口市桜島 3-2-1

スタッフ 藤村孝枝(教授), 吉村真理(准教授),
松元悦子(助教), 中村美花(助手)

URL www.ypu.jp/nn/

左から, 松元, 吉村, 藤村, 中村



山口県立大学看護栄養学部看護学科

History and Now

どのような機関なのでしょう？

山口県内で4年制の看護教育を行うことは、山口県看護協会設立以来の悲願であり、1969(昭和44)年から県議会への陳情が続けられ、1996(平成8)年に山口県立大学に看護学部看護学科が新設されました。その後、看護栄養学部に改組し、看護学科55人、栄養学科40人定員の2学科体制となりました。設置母体の山口県立大学は、1941(昭和16)年の山口県立女子専門学校開学に始まり、現在は国際文化学部、社会福祉学部、看護栄養学部の3学部と別科助産専攻、大学院は国際文化学部研究科(修士課程)と健康福祉学研究科(博士前期・後期課程)から構成されています。

Education

どのような教育をしていますか？

保健師教育課程は15人の選抜制ですが、「公衆衛生看護学」は学科の必修科目としています。また「在宅看護論」は公衆衛生看護学の教員が担当し、両科目を通して、在宅療養者が生活している地域を学生が意識し、理解できるよう心掛けています。また、学部開設当初から「健康教育演習」を必修科目とし、看護師であれ、保健師であれ、住民(患者)が自身の健康状態を把握し、自己管理できる健康教育の在り方を学んでいます。知識・情報提供に走りがちな学生に、住民(患者)が自身の健康問題に気付く過程をいかに支援するか、頭では分かっても実

践できないという混沌とした世界に教員も一緒に陥りながら模索しています。

Research

どのような研究をしていますか？

本学の看護研修センターにおいて「感染管理認定看護師教育課程」を5年間開講し、現在県内に73人の感染管理認定看護師が活動しています。認定看護師は自施設の感染管理だけでなく、地域の高齢者施設等をラウンドし、それぞれの施設に応じた感染対策の助言をしています。そのような地域貢献活動を推進する上で保健所との連携は不可欠であり、保健所保健師の協力を得ながら、高齢者施設の感染対策の実態を明らかにしています。

また、在宅の難病療養者が、難病をどのように受けとめ罹病後の生活を送っていくのか、その心理や行動を当事者の視点から明らかにすることを目的とした研究などにも取り組んでいます。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

地域住民を対象とした卒業研究等を通して、保健師さんと一緒に地域の実態や課題を分析し、解決に向けて共に考えさせていただいています。また、事例検討や保健計画策定、研修会等では、企画段階から一緒に取り組む機会をいただき、私たちも地域の一保健師として活動している感覚で参加し、地域や保健活動の現状を知る貴重な機会としています。

ひとこと

山口県立大学は、地域に根差した大学としてさまざまな教育プログラムを用意し、また他学科の学生と一緒に学びながら、多職種との協働を経験できる機会も設けています。少人数制教育の強みとして、学生一人一人としっかり向き合い、論理的思考力、課題探求能力、問題解決能力などを身に付けることができるよう、丁寧な教育を行っています。

藤村

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp